

会員登録はお済みですか？

みなさんの東京ランチ会員権は今月で満了いたします。引き続きランチ会員を継続登録いただきたく、2月に案内書・登録用紙・振替用紙をお送りいたしました。3月31日(土)の締切りまであとわずかです。まだ会員登録がお済みでない方は、できるだけ早く登録手続きならびに会費ご送金をお願い申し上げます。■

Weekend & AGM 2012

2012年のAGM(年次総会)およびWeekendは東京・練馬区の光が丘ドームで行ないます。くわしくは本ブランチャレターに同封してお送りした案内書をごらんください。概略はつぎのとおりです。繁忙している宿泊先のため、定員を超える宿泊ができません。お早めにお申込みを。

2012年6月1日(金)～3日(日)
光が丘ドーム(練馬区高松5丁目)
最寄駅 光が丘駅・メトロ成増駅・練馬高野台駅
(宿泊はホテルカデンツア光が丘)
¥26,000(早期申込みは¥25,000)
講師 マービン・ショート
音楽 小海弘子+大竹奏
定員 100名■

2012-13 年度運営委員候補募集

現在のランチ運営委員の任期は3月で終了します。AGMで新しい委員を選出しますが、その候補を募集しています。自薦、他薦、経験の有無を問わず、ランチ運営にご協力くださるかたは、どうか現ランチ委員(だれでも結構です)にご連絡ください■

ランチクラス

ビギナーズ・クラス

3月12日・26日(月) 1.30-4.00

以降第2・第4月曜日

千代田区スポーツセンター5F

講師 長峯真弓

4・5・6月の講師 寺久保ヒロ子

¥500/クラス

担当 井口弓子 048-924-9447

インターミディエイト・クラス

4月2日(月) 1.30-4.00

千代田区スポーツセンター5F

講師 松木道子

5月7日 星野 薫

6月4日 神倉那智子

7月2日 鈴木百代

¥500

担当 山田美代子 03-3696-9180

ゼネラル・クラス

4月7日(土) 6.20-8.30

昌平童夢館 2F

講師 小幡正明

5月5日 西森典子

6月 休止

7月2日 有田典和&深雪

¥500

担当 篠塚昌子 029-855-4728

いずれのクラスも会場の変更が予想されるため、毎月のランチニュースで会場をご確認ください■

Book 47 用ダンスのランチ審査

—Weekend 2012 で—

本部の Book 47 (2013 年出版予定) 用ダンス募集は 1 月末に締め切れ、なんと 320! を超えるダンスが提出されたとのこと。とんでもない数のため、本部は選考数を 2 倍にし、2013 年に Book 47、翌年に Book 48 を出版する計画にしました。

そして本部から、選考にあたり各ランチは予備審査に参画してほしいので、参画を希望するランチは申し出よ、と連絡されました。

東京ランチは予備審査に参画することにし、Weekend 2012 において 6 月 2 日 (土) 午後の年次総会終了後に自由参加で行なうことにしました。約 10 ダンスを 2 回ほど踊り、参加者全員の評価をまとめ、本部に報告するという進め方を考えています■

秋の Social Dancing

今年はずぎのとおりです。

9 月 30 日 (日) 午後 1:30~4:30

赤羽会館大ホール■

運営委員会報告

2 月 4 日

- 1/9 New Year Dance 2012 はしゃんとした演奏で、総体としてよかった。忘れ物処分は最後の最後に行なうべきだった。
- 2012 年度会員登録は、3 ランチ連絡会で合意した本部会費で、18~24 歳の青年会員制度を新設し、昨年度と同じやり方で進める。
- Weekend 2012 の内容・進め方は前回と同様とし、3 月に募集のチラシを会員送付する。ダンス会プログラムの決定および MC の人選は 4 月委員会で行なう。
- 2012 年秋の Social Dancing は 9 月末に赤羽会館で行なうこととし、3/1 抽選会に応援を得て会場確保を進める。
- サマースクール 2012 の宿泊はユニバシティホールに代わってマッキントッシュホール。
- JEC 2013 に分担金 10 万円を拠出した。
- 会員から「ランチ・ショップでダンス靴、

スポラン、ピンなどを扱わないのか」との問合せあり。ランチは在庫をもたない主義であり、これらの品物は好み・サイズが多様で在庫となる恐れがあるため、従来どおり取り扱わない。

3 月 3 日

- 2012 年度会員登録状況は 2 月末現在で 134 名。
 - Weekend 2012 の 6/2 昼食弁当はがっかりする内容となる恐れがあるため、参加者に近くのファミレスでとってもらおう。よって参加費は 1,000 円減額の ¥26,000 とする。マービンに対する出迎え人、観光時の同行者を選んだ。また年次総会議案書の作成・発送日程を確認した。
 - 来年 Weekend 2013 の会場候補として光が丘ドーム/ホテルカデンツア光が丘を 5/31~6/2 で予約する。後日の予約キャンセルは可能。
 - 秋の Social Dancing 会場の予約は地元グループの応援により赤羽会館が予約できた。以降の具体的準備は新しい委員会にまかせる。
 - Book 47 用ダンスの予備審査 (別掲)。
 - 新旧運営委員の業務引継ぎ会は 6 月 10 日 (日) 午後 6 時に大久保地域センターで行なうこととし、会場予約を依頼する。
 - マニュアル日本語版制作がクレメント篤子さんの監修を得て、近藤ゆう子さんによって進行中。この春には販売可能となる見込み■
-

ランチ運営委員

| | | |
|------------------|-------------------------------|--------------|
| チェアマン | 西森典子 | 043-485-2528 |
| セクレタリ | 鳥山豊喜 | 044-988-7773 |
| | t-toriyama659@jcom.home.ne.jp | |
| トレジャラ | 松木道子 | 042-475-9054 |
| メンバーシップ・セクレタリおよび | | |
| ニュース担当 | 疋田千鶴子 | 047-467-1922 |
| 委員 | 井口弓子 | 048-924-9447 |
| | 山田美代子 | 03-3696-9180 |
| | 篠塚昌子 | 029-855-4728 |
| | 金田治子 | 043-485-8951 |
| ホームページ | 三木真理 | 0466-81-9961 |
| 試験委員 | 五十嵐成子 | 048-445-1527 |
| | 寺久保ヒロ子 | 03-3801-6139 |

(三木・五十嵐・寺久保さんは非運営委員)

クラスで踊ったダンス

ビギナーズ・クラス

| | | |
|-------|--------------------|----------|
| 1月23日 | 長峯真弓 | |
| | Welcome | |
| | The Happy Meeting | Bk 29 |
| | The Small Glen | Watson |
| | Wisp of Thistle | Bk 37 |
| 2月13日 | 長峯真弓 | |
| | It' nae Bother | Graded 2 |
| | Culla Bay | Bk 41 |
| | Mairi's Wedding | Cosh |
| 2月27日 | 長峯真弓 | |
| | Mairi's Wedding | Cosh |
| | Fair Donald | Bk 29 |
| | Kendall's Hornpipe | Graded 1 |

インターミディエイト・クラス

| | | |
|------|-------------------|---------|
| 2月6日 | 神倉那智子 | |
| | Mrs Stewart's Jig | Bk 35 |
| | Inverneil House | " |
| | Sauchie Haugh | Lflt-29 |
| 3月5日 | 金田治子 | |
| | Burnieboozle | Queen |
| | Argyll Strathspey | Bk 35 |

Roaring Jelly
Wee Cooper o' Fife

Foss
"

ゼネラル・クラス

| | | |
|------|----------------------|-------------|
| 1月7日 | 西森典子 | |
| | The Montreal Dancer | Boyd |
| | Sandy's Scotch Broth | Sibley |
| | The Wee Green Book | Jennings |
| | Mr John Duckett | " |
| 2月4日 | 境雅子 | |
| | Tappie Toorie | Goldring |
| | " | Preddey |
| | " | Drewry |
| | Song of the Silkie | McMurtry |
| | Hame Came Our | |
| | Gudeman | Bk 30 |
| | Dragon's Wing | McMurtry |
| 3月3日 | 長峯真弓/市川洋子 | |
| | Mrs Nora Craig | |
| | Two to One | Bk 28 |
| | Haig of Bemersyde | 5 for 1982 |
| | Ocean Voyage | Cowell |
| | The Foundling | Baker-Glenn |

2012年度ランチ・クラス講師

| Beginners Class 第2・4月曜日 13.30 - 16.00 | | | Intermediate Class 第1月曜日 13.30 - 16.00 | General Class 第1土曜日 18.20 - 20.30 |
|---|--------|-----|--|---|
| 9日・23日 | 寺久保ヒロ子 | 4月 | 2日 松木道子 | 7日 小幡正明 |
| 14日・28日 | | 5月 | 7日 星野薫 | 5日 西森典子 |
| 11日・25日 | | 6月 | 4日 神倉那智子 | ナシ |
| 9日・23日 | 渋谷明美 | 7月 | 2日 鈴木百代 | 7日 有田典和&深雪 |
| 13日・27日 | | 8月 | 6日 金田治子 | 4日 疋田千鶴子 |
| 10日・24日 | | 9月 | 3日 中田多鶴子 | 1日 近藤幸子 |
| 8日・22日 | 神倉那智子 | 10月 | 1日 渡部多美子 | 6日 佐藤仁美 |
| 12日・26日 | | 11月 | 5日 境雅子 | 3日 若松陽子 |
| 10日・24日 | | 12月 | 3日 三木真理 | 1日 林浩子 |
| 14日・28日 | 三木真理 | 1月 | 7日 大西弘美 | 5日または12日 若松陽子 |
| 11日・25日 | | 2月 | 4日 境雅子 | 2日 小山かおる |
| 11日・25日 | | 3月 | 4日 篠塚昌子 | 2日 鳥山豊喜 |

動くこと、学ぶこと

ケート・ウォーカー

先ごろジェフリー・セリングは、SCDのティーチャーはしゃべりすぎる傾向があると述べた。脳科学をともなった指導と学習についての研究は、口頭による指導が学習の手始めにならないことを示している。学習意欲を生じさせるものはとにかく、習熟への思慮深い練習である。ここで思慮深い練習とは、試行の繰返し、フィードバック（修正）、そしてさらなる試行を意味する。これをスコティッシュ・カントリー・ダンシングにあてはめてみよう。

1. 口頭による修正指示は、動いているときに大きな効果を発揮する。ダンシング中のコーチングがこれにあたる。
2. 試行時にすぐに修正を指示しないと、学習効果を発揮しない。ダンシングが済んだあとに評価を行なうときは、もういちど正しいやり方で踊らせることを考えるべきである。時間がなければ、ほめることからはじめ、数回反復して踊らせ、修正を指示し、残りの部分を踊らせる。
3. 間違いをし、修正を指示され、もういちど踊ってみる、これが習熟度進展の重要な要素である。ダンサーは間違えることで多くを学ぶのである。これ以外に学べるものはない。ただ、これはソーシャル・イベントではなく、クラスにかぎって有効である。

クラスで、踊っている時間（ダンス・タイム）は実のところ何分なのか、測ってみてはいかがか。時間を計測することで、容易に、しかも明確に練習量を評価できる。ストップウォッチで音楽が流れている時間を測れば、クラス終了時にそれがいかに短いか、ショックをうけるであろう。この方法では、口頭でカウントして踊らせるのはダンシングではなく、ただのウォーキングとみなしている（これは守るべき妥当な方策である）。

2004年のわたしのダンス・タイムは、大人向けのクラスでさいわいにも35%（1.5時間のクラスで30分）であった。わたしのクラスでは一般的に15%から50%である。

この秋にわたしは大人のクラスとこどものクラスでダンス・タイムを測ることにしている。仲間のティーチャーにも測るよう呼びかけるつも

りである。もしみなさんからデータを得られたなら、本紙（TACTalk）で発表したいと思っている。

（Moving and Learning by Kate Walker from Tactalk September 2011）■

SCDが好きなのはなぜ？

トム・ホルペニー

なぜSCDが好きなのか、主な答えは2つである。

1. 踊りの習熟を高めるため、習い、練習する。
2. 仲間とのつきあいが深まる。

2つのうち、どちらに重きをおくのだろうか？なぜわれわれはそう思うのだろうか？その理由を理解すれば、SCDグループの成長に役立つヒントが得られるだろう。わたしは、ダンシングが友人とともに喜びを感じる楽しい活動であるからという理由で、仲間とのつきあいが主要な要因と思う。

わたしは過去2年の間、いろいろなことに注視していた。わたしは12年間SCDを楽しんでいるが、妻のライザと一緒にハッピー・ホッパーズ・クラブでスクエア・ダンスを習いはじめた。カリスマ的コーラーのジム・ハトリックから、「ベーシック」、「メインストリーム」、「プラス」の段階的レッスンをうけ、クラブの会員になった。数にして100のムーブメントを勉強し、いまは新人を助ける立場になっている。SCDの友人に加え、われわれ2人にはSDの友人たちもいる。

交流がないにもかかわらず、スコティッシュとスクエアの両グループには、共通したところが多い。多くのダンサーは、前からあるダンスをすこし変化させた、新しいダンスを踊ってみたいと思っている。しかしながらわたしは、経験豊かなダンサーは別の分野のダンスにはほとんど興味を示さず、逆に新人ダンサーは別の分野のダンスを踊ることによりオープンである、ということに気付いた。この習性に関する理論とは、ダンス・グループ内が親しい友人同士でまとめ、ダンサーたちは他のグループに行ってみようと思わない、ということである。しかるに新人ダンサーは他のグループを探検するのが好きであり、友人をつくることに抵抗がない。

2年間にわたり、わたしとSCDとSDの両方を一度でも踊ったダンサーを「啓発ダンサー」としてその名をリストに書き加え、18人という数になった。リストにはスクエア・ダンスをやるスコティッシュ・ダンサーが8人、スコティッシュ・カントリー・ダンスをやるスクエア・ダンサーが10人載っている。スクエア・ダンサーの数人は、妻ライザのスコティッシュ・クラスに来ている。そのダンサー連中は、ステージ1の「2時間のSCDお試しタイム」から、ステージ2の「定例クラス参加」に進み、スクエア・ダンス・レッスンの休憩中にSCDをデモンストレーションしている。

スコティッシュ・クラスで生まれたソーシャルな相乗作用は、この1年ですばらしいものになった。早くから2つのダンスを踊り始めたケートはSDとSCDの両方に自信をもつようになり、熟練のスクエア・ダンサーのノーマ、ダニー、キャロルも両方に熱心なダンサーとなった。ダレルは経験あるボールルーム・ダンサーだがSDとSCDを習い始め、家族のライザとキアナをSCDに引っ張り込み、その2人はSDにも加わろうと考えている。熟練のSCDダンサー、エルカは娘のリリーを連れてきた。ブランチのSCDティーチャー、レベッカは大きな役割を担い、かつフレンドリーなダンサーであり続けている。わたしはSCDクラスのレッスン中に、そしてそのあとでもソーシャルなつながりをたくさん見ている。みなSDクラスの休憩でも打ち解けた状態になっており、SCDおよびSDの諸イベントでもすばらしい時間を過ごしている。

ソーシャルな友人関係を高めるアイデアを考え出せば、SCDコミュニティを持続させ、発展させる大きな力となる。多くのスクエア・ダンサーとの交流は一つのアイデアでもあり、SCDにおけるこれからの「啓発ダンサー」は、新しい友人関係を作るためにスクエア・ダンスへの参画を考えると。 (Why do we like to Scottish Country Dancing? by Tom Halpenny from Tactalk December 2011) ■

人気ダンス Top 22

—イングランド南東地方—

ロンドン・ブランチのニューズレターThe Reelの278号(2011年12月)でイングランド南東地方における各イベントで、昨年もっともよく踊られたダンスが発表されている。イアン・ロスが集計したもので、100以上のイベントで約2000ダンスが踊られたという。トップ22のダンスと回数はつぎのとおり。8x32のストラスペイは1ダンスも入っていない。まんべんなく踊られているが、とくにこれぞという8x32のストラスペイは同地方にはない、といえる。

| | |
|---------------------------------------|------|
| Pelorus Jack | 25 |
| MacDonald of the Isles | 22 |
| Scott Meikle | 21 |
| Ian Powrie's Farewell to Auchterarder | 20 |
| Mairi's Wedding | 20 |
| Minister on the Loch, The | 20 |
| Anniversary Reel | 19 |
| Dream Catcher, The | 19 |
| Montgomerie's Rant, The | 19 |
| Dancing Master, The | 18 |
| Bratach Bana | 17 |
| John of Bon Accord | 17 |
| Quarries Jig | 17 |
| Reel of the 51st Division, The | 17 |
| Wild Geese, The | 17 |
| Neidpath Castle | 16 |
| Reel of the Royal Scots, The | 16 |
| Shiftin' Bobbins | 16 |
| Hooper's Jig | 15 |
| Luckenbooth Brooch, The | 15 |
| Major Ian Stewart | 15 |
| Mrs MacPherson of Inveran | 15 ■ |

新 Book 紹介

Tom Toriyama

(1) RSCDS Electronic Manual マニュアル電子版

本部の会員向けウェブサイトでマニュアル電子版が公開されている。今回の電子版と 2005 年に出版されたマニュアルをざっと見比べたが、新たな変更箇所はないと感じた。第 7 章の Notes for Dances でも追加されたダンス注記はない。

本部ウェブサイトに e-mail アドレスとパスワードを登録すればどなたでも閲覧・印刷できるので、出版マニュアルを購入する必要はない。e-mail アドレスとパスワードの登録についてはセクレタリ鳥山 t-toriyama659@jcom.home.ne.jp にお問合せを。

マニュアル電子版のサイズは 3800KB あるので、パソコンの空き容量の少ない場合は USB や CD に落したほうがよい。わたしのパソコンでは RSCDS 画面から直接ハードコピーが得られず、いったん文書としてパソコン内に登録して印刷可能であった。

そのまま印刷すると各ページ狭い綴じ代となるので、印刷時縮小機能のある場合は 90% 程度に縮小して印刷したほうがよいと思う。118 ページ（出版品は 136 ページ）あるので、時間余裕のあるとき、インクカートリッジと用紙の予備をかたわらにおいて印刷を開始されてはと思う。

(2) RSCDS Books 19 to 24 Book 19-24 合本

本部はポケット判の制作を中止するかわりに 2007 年から記述のみを合本化するプロジェクトを進めており、このほど Book 19 から 24 の記述をまとめた合本が出版された。Book 19 の出版は 1957 年、Book 24 は 1968 年であり、その後記述のしくみや用語もずいぶん変わっている。Book 21 のみは 2007 年に全面改定版が出たが、これ以外は出版当時のままの記述であった。本部から黄ばんで古くなった Book 23 原本を手にした会員も大勢いらっしゃると思う。

今回の合本は記述、用語を全面的に見直し、新しくわかりやすい内容になった。Step up のタイミングはいつか、どちらの手をとるのか（dance up か lead up か）がより明確になっている。

北米でよく踊られる Just as I was in the Morning (Book 19。ピリングでの表記は Deuks dang ower my Daddie) の bars 17-20 で「1st カップルは promenade hold」と明確である。

Hollyrood House (Book 22) の bars 33-40 は 4 カップルによる half reel of four であるが、オリジナルの記述はそっけなく、どう踊ればいいのか解釈に苦しむが、合本は TAC およびマニュアルの記述をとり入れ、たいへん分かりやすくなった。

The Mairrit Man's Favourite (Book 24) の bars 9-16 は、オリジナル記述では lead down (4 bars), lead up & cross (2 bars) and cast off (2 bars) で、2nd place に入るのに苦勞していたが、合本では 3, 3, 2 bars でよいと解釈でき、踊りやすくなっている。

Book 19-24 のダンスをピリング（ダイヤグラム）に頼るのではなく、きちんとした踊り方をしたい、正しく指導したいというひとは必ず参照すべき本である。〔注文略号：ブック 19-24 合本〕

訂正：前号の新 CD・Book 紹介において、バーカムステッド・ダンスブックの The Foundling で「bars 3-8 の reel of six in the middle は、両端に出たダンサーは bar 4,6,8 において ACW に小さくソロでカーブラウンドする必要がある」と述べたが、これは誤りで、ブック下方の補足説明どおり「大きく CW に動く」が正しい。おわびする。

ブック 19-24 合本のご注文は注文略号、数量、金額を明記のうえ、郵便振替 00240-0-63517 東京ブランチでお申し込みください。

ブック 19-24 合本 ¥2,100 (送料込み)

ショップ担当 金田治子 043-485-8951

hrk.kaneda@gmail.com

締切り 3月30日(金)

お渡し予定 4月末■